

下の項目を見て、当てはまる欄に○をつけて下さい

3: 支援がなくてもできる

2: 支援があればできる

1: より多くの配慮が必要

(支援とは、声かけ・モデル・絵カード・指差し・手をかす、等々を意味する)

領域	番号	項目	3	2	1	備考	参考資料
ケコ ミュ シニ ン	①	挨拶や返事をする事ができる。					
	②	困った時に「教えて」や「手伝って」を言うことができる。言葉では表現できないが、困っている場面で本児独特のジェスチャー等があれば備考欄に記入。					
	③	「大人びてませた言葉」や、「意味はきちんと理解していない特定分野の丸暗記の知識」、「含みのある言葉を言葉通りに受け取ってしまうやり取り」、「場面や相手の感情を理解していない言葉」、「よく知っているテレビのシーンを引用したような言葉」、「一方的なおしゃべり」等、 気になる言動なく自然な会話 ができる。					
	④	人と視線を合わせることができる。					
理 解	①	じゃんけんの勝敗がわかる。					
	②	しりとり遊びをすることができる。					
	③	右手、左足、右目、左耳など、 左右の概念を理解 できる。					
	④	比較概念 が理解できる。(大小、長短、重軽、など)					
自身 立辺	①	一人で食事をすることができる。特別な器具等が必要でもそれがあれば 一人で食事ができる なら「3 できる」にする。その器具や手助け等の詳しい配慮等や食事にかかる時間、食べこぼし等に関して特に気になる点があれば備考欄に記入。					
	②	一人でトイレに行くことができる。環境・設備的配慮工夫等が必要であっても、それがあれば 排泄行為が後始末まで含めて一人でできる なら「3 できる」にする。和式・洋式トイレの制限や、衣類・手すり等に関して配慮が必要ならば備考欄に記入。					
	③	一人で衣類の着脱ができる 。仕上げや見守り、声かけ等が必要な場合は「2 支援があればできる」にする。支援の詳しい内容に関しては備考欄に記入。					
関興 心味		得意な事・好きな遊びに関して、自分からのびのび出来る事、少し支援があればさらに良い所が成長できる事、配慮の中でならうまく自分を表現できる事などを、その内容と、支援・配慮を備考欄に記入。					

下の項目を見て、当てはまる欄に○をつけて下さい

3: 支援がなくてもできる

2: 支援があればできる

1: より多くの配慮が必要

(支援とは、声かけ・モデル・絵カード・指差し・手をかす、等々を意味する)

領域	番号	項目	3	2	1	備考	参考資料
運徴	①	両手を上手く協調させて動かし細かい部分をはさみで切るができる。					
	②	首元のボタンを留めることができる。					
動細	③	目と手を協応させて、箸やペン等の道具を使うことができる。					
注	①	好きな活動だけでなく、指示の出た活動において 10～15分程度は意識を課題に向け続ける ことができる。(気が散らない)					
	②	片付いていない物に対して、周囲から指摘がなくても 自分で気付き、片付ける ことができる。					
	③	当番や掃除など自分の 役割がわかり、最後までやり遂げる ことができる。					
	④	指差しやことばの指示に従って 意図したものに注意を向ける ことができる。					
多	①	席についていなければいけない場面での 場面理解 ができ、我慢して 座っている ことができる。					
	②	座っていてもやたらと手足が動いたり、グニャグニャしたりせず 姿勢を維持 することができる。					
衝	①	順番を待つ 意味をきちんと捉え(怒られるからではない)、先生が近くで見えていなくてもできる。					
	②	話にわり込まず 最後まで聞く ことができる。					
	③	困ったり怒ったりしたときの解決手段として、 乱暴な言動をしないで 対応することができる。					
適変	①	なれない場面でも 不安や混乱なく 落ち着いていることができる。					
応化	②	自分なりのやり方や物に執着しないで、 違ったやり方にも対応 することができる。					
対	①	大勢の人の行事や集会の中でも不安にならず 、参加することができる。					
	②	仲の良い 友達 が少なくとも一人いる。					
関	③	集団の中で友達関係を上手く築く (「友達の側にはいるが、よく見ると遊びは一人」とならず)ことができる。また、友達と仲良く遊びたいという気持ちをもっている。					
	④	鬼ごっこやサッカー等ルールのある遊びの中で、 遊びのルールや自分の役割を理解 し、その役割の中で楽しむことができる。					

下の項目を見て、当てはまる欄に○をつけて下さい

3: 支援がなくてもできる

2: 支援があればできる

1: より多くの配慮が必要

(支援とは、声かけ・モデル・絵カード・指差し・手をかす、等々を意味する)

領域	番号	項 目	3	2	1	備考	参考資料
聞 く	①	一斉指導での指示や制作活動、集団活動等で、全体に出した指示の意図を解釈することができる。また、言われたことを理解して場面に合った行動をとることができる。					
	②	「〇〇して、△△の後、□□してね」など複数出された指示においても、聞き間違いや聞きもらしなく対応することができる。					
	③	読み聞かせに興味を示し、話の中から内容を理解できる。					
話 す	①	自分の意思を話す時、内容的に乏しく単語を羅列した短い話や、思いのままに筋道の通らない話ではなく、内容をわかりやすく伝えることができる。					
	②	発音は、特定の発音(カ行やサ行等)に苦手があったり吃音(どもり)などが出たりすることなく、よどみなく発音することができる。					
読 む	①	人や物に注視する時、横目で見たり極度に目に近づけて見たり等特別な見方をせず見ることができる。					
	②	ひらがなで書かれた自分の名前を読むことができる。(園で取り組んでいない場合は記入しなくてよい)					
	③	2文字単(いぬ、さる等)は、その意味を理解しながら読むことができる。					
書 く	①	手本を見ながら、三角形と四角形の角をきちんと理解して始点と終点をきちんとつなげて作図できる。					
	②	絵描きたいものを自分で考えたり、紙の上に描ける。					
計 算	①	「1、2、3・・・」と10まで順に数をかぞえられる。(順番がわかる)					
	②	指示された10までの数をわたす事ができる。(量がわかる)					
推 論	①	場面にあった行動をとることができる。					
	②	なぜなどを理解し答えることができる。					
運 動	①	自然な動きで走ることができる。また、身体的に特徴や制限がある時は備考欄に記入。					
	②	身体のバランスを取り、片足ケンケン・スキップをすることができる。					
	③	ダンスで身体を総合的に動かしたり、他者がする動きを模倣することができる。					